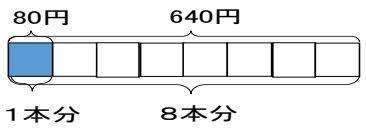
【初等教育研究会（２日目）　本時のわたり計画】

■：直接指導　　□：間接指導　　※：適宜直接指導ができる時間　　○：教師の発問・指示等

【３年生】

【４年生】

教師の働き掛け	学習活動と子どもの姿	直	間	学習活動と子どもの姿	教師の働き掛け
問題文を提示する。 **１本□円のえんぴつがあります。このえんぴつを８本買ったら，代金は 640 円になりました。**	※問題文をノートに書くよう指示する。	□	■		問題場面を提示する。 **60 円のえんぴつと，80 円のペンを合わせて 20 本買いました。そのときの代金は 1320 円でした。えんぴつとペンを，それぞれ何本買ったのでしょう。**
		□	■		
		□	■		
		□	■		
		□	■		
		□	■		
		□	■		
		□	■	**１.依存関係に着目する** ・えんぴつの本数が増えると代金が増える。 ・えんぴつとペンを買うと合計金額が増えていく。 ・えんぴつを買う本数が増えると，ペンの本数が減る。合わせて 20 本になるから。	**働き掛け１** ○「何が変わると，何が変わる問題場面しょうか」
		□	■		
		□	■		
働き掛け１ ○「□を使って，式をつくることができますか」 ※式が□×８＝640 しか出なかった場合は，教師が 640÷８＝□を提示する。	**１.場面を式に表す** ・□×８＝640 になります。 ・640÷８＝□とも表せます。	■	□		
		■	□		
		■	□		
		■	□		
		■	□		
		□	■		
		□	■	**２.えんぴつとペンの数をどのように調べていくかを考える** ・適当にえんぴつの数を決めて，計算すればいい。 ・例えば 60 円のえんぴつを 10 本買うと 80 円のペンも 10 本買うことになる。でも 60×10＝600，80×10＝800 で，600＋800＝1400 円だから 1320 円に合わない。 ・全部えんぴつだとすると，60×20＝1200 円になる。ここからペンの数を増やしていけばいつか 1320 円になると思う。 ・表に表していったらよいと思います。えんぴつの数とペンの数が変わっていくのを表にまとめて，そのときの代金を表にかいていけばよいと思います。	**働き掛け２** ○「どうやってえんぴつとペンの数を調べていけばよいでしょうか」
		□	■		
		□	■		
		□	■		
		□	■		
働き掛け２ ○「□×８＝640 と 640÷８＝□は，同じ意味なのでしょうか。それえとも違う意味なのでしょうか」 ※何がおなじで，何が違うのかを明らかにするという話合いの視点を子どもに示す。 ○「□×８＝640 と 640÷８＝□をそれぞれテープ図で表すことができますか」	**２.２つの式の意味を比較する** ・昨日は 390＋110＝□と□－390＝110 の式が出てきて，似ているけど違っていた。だから今日の２つの式も違うのではないか。 ・同じだと思う。文の通りに式にすると□×８＝640 だし，１本のえんぴつの値段を求めたいなら 640÷８＝□の式になる。式は違うけど，言っていることは同じ。 ◎□×８＝640 と 640÷８＝□は同じ意味？ ・前の時間のように，テープ図で表してみて，同じテープ図になれば，２つの式の意味は同じだと説明できる。  ・１本分の値段を求めたいときはわり算だけど，８本分の値段を求めたいときはかけ算になる。 ・何を求めるかによってかけ算になるかわり算になるかが決まる。	■	□		
		■	□		
		■	□		
		■	□		
		■	□		
		■	□		
		■	□		
		■	□		
		■	□		
		※	※		
		※	※		
		※	※